

第3回県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成20年7月4日（金）9：00～10：00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、各部局長等
- 4 欠席者：望月副知事、環境森林部廃棄物政策担当理事、農水商工部観光局長
- 5 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1：平成21年度県政運営の基本的な考え方（案）について（政策部）

- ☆ 経済・雇用情勢について、今の状況と乖離がないか。
- ☆ 財政状況を踏まえるため、スケジュールを後ろへずらす必要がないか。
- 県政運営方針と併せて予算調整方針を議会へ示すことで、対外的な予算編成のスタートとなる。財政フレームを踏まえて議論していく必要はあるが、まずは9月のトップレビューで来年度に向けた大きな議論をしてもらいたい。
- ☆ 予算議論の前に方向性について議論するのが、現実的。
質の行政改革の部分の構成について、整理が必要ではないか。
- ☆ 美し国は計画全体に関わること。どのような位置づけになるのか。
- ☆ 県政運営方針には、住民へのアピールという意味もあるのか。
- 職員の事業推進の拠り所であり、かつ、県民にとっては県の方針を示すものとなる。

- ☆ 物価高について、くらしを取り巻く環境の中でも触れるべきではないか。
- ☆ もっと社会情勢の変化を認識し、計画の見直しを行わないと、喫緊の課題には対応できない。
- ☆ 計画策定から2年たった現状を認識し、社会変化を踏まえた戦略が必要。
- 重点事業を組み直すかどうか。今の枠組みの中で、構成事業を柔軟に見直していききたいというのが事務局案である。
- ☆ 今から中間見直しをするには、時間的に難しい。重点事業には現時点で必要なものが盛り込まれており、見直してもそう変わらないのではないか。
- ☆ 社会情勢の変化は想定の範囲内であり、計画には織り込み済み。
- ☆ 今後の長期的な大きな変化と、現時点で把握している状況変化を分けて考えるべきではないか。
- ☆ 具体的に主担当事業ごとに考えていく中で、方向性が出てくるだろう。現在の枠組みでの見直しを進めつつ、視点はさらに大きな見直しに向けておく、としてはどうか。
- 政府方針も見えない。基本はしっかり認識しながら、変えるべきと思うところは、しっかり議論していきたい。

以上